

フォーカスG. I参加者パーソナルプロフィール

属生	No	氏名	学年 学校名	月間小遣いにおける 化粧品充当額	化粧品各アイテムへの関心度（予算比率）	メイク購入チャネル	購入商品にみるコスメ消費傾向
高校生	A1		東京立正 高校3年	15,000円 (30%→4,500円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアスタイリング・ヘアケアに次いでメイク商品に関心あり</li> <li>スキンケアに関する予算比率はメイクの1/3程度でボテメイクよりもさらに意識は低い</li> </ul>	よく使用するメイクはほとんどドラッグ（マツモトキヨシ）購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各アイテム全般にわたりメイクの愛用率が高い</li> <li>◇アイメイクは黒とブルーを基調にホワイトなども使用</li> <li>メイクはメイクとセザンヌだが、セザンヌは安すぎて失敗</li> <li>◇口紅はドラッグで購入した。テストイモのカラーコンパクトを使用。リップライナーも使用しておりメイクの色が強い</li> </ul>
	A2		高校2年	25,000円 (20%→6,250円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキンケアを重視 次いでメイク。</li> <li>ボテメイク・ヘアケア・フレグランスなどもメイクに次いで活性しているがヘアスタイリング 剤はほとんど購入していない</li> </ul>	地元のドラッグや都心ターミナル（ソニープラ）ファッションビルなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各アイテムとも多岐にわたるセールのブランドを使用</li> <li>アイメイクはメイク、PJラピス、トニーク、ブルジョア...と多彩だが、黒・グレー系中心</li> <li>◇制度品は口紅のオーブのみ</li> </ul>
	A3		高校3年	10,000円 (30%→3,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアスタイリング、次いでメイクと外見を整えるアイテムが活性</li> <li>スキンケアにかかる予算はメイクの半分程度</li> </ul>	よく使用するメイクはほとんどドラッグ（新生堂が多い）購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新生堂では主に制度品（花王、カネボウ、コーセー）を購入。単価も1,800（テストイモミニリップ）～3,000円（オーブシャドウ）と高めである</li> <li>◇薬局では安価なメイクや口紅を購入しているが全般的に制度品指好</li> <li>◇アイメイクは黒のマスカラのみ</li> </ul>
	A4		私立大妻 高校2年	40,000円 (25%→10,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボテメイク、スキンケアにそれぞれメイクの2倍近く予算をかけている。</li> <li>さらにヘアスタイリングに次いでメイクとなる</li> <li>肌の手入れ全般に対する関心が高い。</li> </ul>	スーパーとドラッグストアの半々さらに海外でかなり仕込んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇コスメ予算の割にメイクアイテムは安価なものを購入</li> <li>◇アイメイクは黒と茶。資生堂、カネボウでも500円以下のものを使用</li> <li>◇口紅やファンデは海外購入。いろいろな色味へのチャレンジが活発でなかでもメイクは黄・黒・水色と奇抜なカラーを指好している</li> </ul>
	A5		都立広尾 高校2年	5,000円 (?)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレグランスに凝っており、メイクの4倍の予算をかけている。次いでメイク、ボテメイクである</li> </ul>	ターミナルファッションビルを利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各アイテムとも使用商品が少なく口紅以外はあまり使っていない</li> <li>◇アイメイクは茶のレブロンのみであとは自己購入していない</li> <li>口紅関連はもらいものも多く、制度品など（オーブ、レジェンテ、イソイ、マリークワント）知名度の高いものを使用している</li> </ul>

属生	No	氏名	学年 学校名	月間小遣いにおける 化粧品充当額	化粧品各アイテムへの関心度（予算比率）	メイク購入チャネル	購入商品にみるコスメ消費傾向
高校生	A7		高校2年	7,500円 (20%→1,500円)	・ <u>ブルグランス・ヘアスタイリング</u> ・ <u>ホテイクア</u> の順。メイクの1.5～2.5倍予算をかけている	ターミナルファッションビルを利用	◇アイメイクはほとんどしない。黒のアイブ`のみでカネボウの500円口紅・ネイルが活性しているが、メーカー（レジエンテ、セザンヌ、イミュ）価格帯（1,000～3,000円）もバラバラで統一感がない
	B1		私立淑徳 吉野 高校2年	15,000円 (10%→1,500円)	・ <u>スキンケア</u> 商品は購入頻度は少ないが、 <u>予算をかけている</u> 。次いで <u>メイク</u> と <u>ヘアスタイリング</u> が同じくらい	よく使用するメイクはほとんどドラッグ	◇アイメイクと口紅の使用アイテムが多い。メーカーには統一性がないが価格帯は1,000円以下のものが多い ◇アイメイクでは、マスカラは黒とクリアを使い分け、アイライナーは茶、アイブ`のみは使用していない
	B2		私立桜丘 女子 高校2年	20,000円 (20%→4,000円)	・ <u>ヘアスタイリング</u> 、 <u>ホテイクア</u> 、 <u>ヘアケア</u> が中心 スキンケアとともにメイクアップはあまり活性していない		◇ネイルのみの使用。水色、クリームなどいろいろな色にチャレンジしている
	B3		都立上野 高校2年	7,000円 (40%→2,800円)	・ <u>ヘアスタイリング</u> はメイクの2倍予算をかけている 次いで <u>ヘアケア</u> 、 <u>スキンケア</u> 、 <u>メイク</u> の順	薬局・ドラッグが中心 CVSでも購入	◇ネイルの使用が多い。メーカーは資生堂、花王、マックスなど有名メーカーのもの（オプ`、P Jレピ`s、レパ`ロソ、マックス）が多いが（価格は1,000円以外のもの中心） ◇アイメイクはマスカラのみで茶。自己購入したものではない
	B4		鶴見女子 高校2年	10,000円	・ <u>メイクアップ</u> 、 <u>ヘアケア</u> 、 <u>ヘアスタイリング</u> の順	ドラッグでの購入が中心だがファンデ`は百貨店、口紅やネイルは百貨店や海外でも購入	◇各アイテム毎に使用商品数が突出して多くいわばコスメフリークである ◇価格帯は購入チャネルにより異なりドラッグ`では高くても1,500円、500円以下のものが多い エステロ`ター（百貨店）とセザンヌ（ドラッグ`）の使い分けをしている ◇アイメイクと口紅に注力、アイメイクは各アイテム毎5～10品使用している。アイブ`のみはグレーとブラウン、アイライナーはブラウンに加えてブルー、パープル、レッドなども利用 マスカラもクリアと黒を基本にグリーン、レッド、パープル、ブルーとアイライナーと色合わせをしている

属生	No	氏名	学年 学校名	月間小遣いにおける 化粧品充当額	化粧品各アイテムへの関心度（予算比率）	メイク購入チャネル	購入商品にみるコスメ消費傾向
高校生	B5		高校2年	40,000円 (10%→4,000円)	・スキンケアにメイクの倍予算をかけている 次いでヘアスタイリング、メイク	ドラッグと百貨店 百貨店ではシェウエムテ、ソニア、 クリニクを購入	◇アイメイクと口紅の使用が中心。ネイルは使用していない。ややブランド指好が強くドラッグでも制度品メーカーのもの（資生堂200円のアイブロウから3,000円のオフ、口紅まで）を購入する傾向がある ◇アイブロウはブラウンとグレー、アイライナーは白、マスカラは使用していない ◇口紅はオフ、MAC、シェウエムテ、ソニアと価格帯も広いものを使用
	B6		大清水 高校2年	5,000円 (20%→1,000円)	・ヘアスタイリングが多い。次いでスキンケアとメイクが同じ割合で予算をかけている	都心ターミナルのファッションビル・ VSが多い（ショップインをドラ ッグとして捉えている）	◇各アイテムとも少量ずつ（2～3品）バランスよく揃えている ◇メイブリン、ミア、クルージュなどVSブランドが多い ◇アイメイクはマスカラのみで黒とクリア。シャドウは白のみである
	B7		鶴見女子 高校2年	10,000円 (5%→500円)	・どのアイテムもあまり活性化していないが、スキンケア、メイクの順	ドラッグ、VS	◇各アイテム1品のみでファンデーションも使用していない。1,000円前後のものを購入している ◇アイメイクはマスカラ黒（メイブリン）のみ
大学生	C1		大学1年	20,000円 (20%→4,000円)	・スキンケア、ボディケアに次いでメイク、ヘアスタイリングが同じ割合で予算をかけている		◇アイメイクとネイルをよく使用する。アイメイクは1,500円 ネイルは500円が目安。PJレピス、メイブリン、ユーシーなど 制度品メーカーでもヤング向けブランドを使用している ◇アイメイクは各アイテム1品ずつ、アイブロウのみブラウンで 他は黒、メイブリンが多い。
	C2		東洋英和 女子 大学1年	60,000円 (35%→21,000円)	・ボディケア、スキンケア、ヘアケア、ヘアスタイリングに次いでメイク。 スキンケアはメイクの倍予算をかけている	薬局又は百貨店	◇制度品対面ブランド（オフ、レヴェン）を愛用。使用アイテムはかなり少ないが、単価2,500～3,000 円のものを使用している ◇口紅は2品のみ、アイメイクもアイブロウ、グレー、マスカラ、 ブラウンの各1品のみ
	C3		美容院 社会人 4年	100,000円 (30%→30,000円)	・ボディケア、ヘアスタイリング、メイクの順。ボディケアにはメイク の倍予算をかけている	駅前のドラッグ中心	◇各アイテムとも1～2品に限ってよく使っている アイブロウはブラウン黒、ドラッグでの購入価格帯は 500円～2,000円位

属生	No	氏名	学年 学校名	月間小遣いにおける 化粧品充当額	化粧品各アイテムへの関心度（予算比率）	メイク購入チャネル	購入商品にみるコスメ消費傾向
大学生  ※C6は 欠席	C4		東洋英和 女子 大学1年	60,000円 (20%→12,000円)	・スキンケア、ホテイク、ヘアスタイリング、メイクの順 スキンケアの方にやや予算をかけている	VS中心	◇各アイテムとも1,000円台のものが多い。ネイルにこだわりがあり、青、白、ゴールドなどを使用 ◇メーカーはバラバラだがVS系メーカーが多い傾向 ◇アイメイクはアイブロー、ブラウン
	C5		立教 大学2年	50,000円 (10%→5,000円)	・スキンケア、ヘアスタイリング、フレグランスに次いでメイク スキンケアにはメイクの倍予算をかけている	ドラッグでも購入するがアイテムを限定する傾向 海外も多い	◇口紅、ネイルは3色をよく使用、メーカーはバラバラだが2,500円以上の有名メーカー（シェークエムラ、クリニク、マックス、レブロン、シャネル）が多い ◇アイメイクは200～600円と低価格指好が強い 色はアイブローは黒、アイライナーは黒、マスカラは青
	C7		短大 2年	10,000円 (4.5%→450円)	・ヘアスタイリングに最も予算をかけている。次いでフレグランス・メイクでほぼ同じ位の予算配分である	ドラッグとVS（ソープラザ）が中心	◇口紅とネイルをよく使用しいろいろな色味をもっているハケやリシェンテなど3,000～3,500円位のものもドラッグやVSで購入している。ネイルも比較的高いものを使用 ◇アイメイクはシャドウ中心、マスカラはソニアの白のみ
	D1		早稲田 大学2年	100,000円 (5%→5,000円)	・メイクに最も予算をかけている。次いでスキンケア、フレグランスの順 ・スキンケアはメイクの半分の予算	海外と百貨店中心 ドラッグ購入のアイテムは限られている	◇各アイテムとも多数使用しており完全な海外ブランド（ランコム・ティオール・シャネル・サンローラン・ジバンシー）愛好者 ◇アイメイクの中でもアイブローのみ資生堂200円を使用 シャドウは白、パルケレー系、アイライナー等も海外で海外ブランドを購入
	D2		上智 大学4年	60,000円 (25%→15,000円)	・ホテイク・ヘアスタイリング・スキンケアに次いでメイク ・ホテイクはメイクの2.5倍、スキンケアも1.5倍の予算をかけている	マスカラとネイルというような決まったアイテムのみドラッグ それ以外はいろいろなチャネルで購入	◇各アイテムとも多数使用しているがメーカーはバラバラ 購入チャネルもドラッグ以外はバラバラ ◇比較的中価格帯が多くアイメイクも1,800～2,500円、ネイルも700～950円である。ドラッグではメイリン、イミュ、クレージュ、マリクルルなどを購入 ◇アイライナーはブラウンと黒、マスカラは黒とブルー、アイブローはグレーを使用

属生	No	氏名	学年 学校名	月間小遣いにおける 化粧品充当額	化粧品各アイテムへの関心度 (予算比率)	メイク購入チャネル	購入商品にみるコスメ消費傾向
大学生	D3		リズ会社 社会人 1年	100,000円 (25%→25,000円)	・メイクの予算比率が最も高い。次いでヘアスタイリング、フ ラグランス。スキンケアはメイクの6割の予算しかかけてい ない	安目の価格のものをドラ ッグで購入	◇資生堂、プロトンが多い傾向にあるがMACから海 外有名ブランドまで多岐にわたっている 200円～1,500円のを全般的によく使って いる ◇アイメイクも120円～1,500円、マスカラは黒、アイブ ロウ、アイライナーはブラウンと黒を使用
	D4		OL 社会人 3年	50,000円 (10%→5,000円)	・スキンケア、次いでメイク。ヘア、ヘアスタイリング、フ ラグランス ・スキンケアはメイクの2割増程度の予算をかけている	パレットドラッグでの購入が 中心	◇全体の中ではネイルをよく使用している。口紅 は2色程度の使用 ◇価格帯は1,000円以下のものが多くアイメイクもド ラッグ購入のものは800円相当。アイブローはグレー
	D5		学習院 大学3年	20,000円 (40%→8,000円)	・メイクに最も予算をかけている。次いでスキンケアとフ ラグランス。スキンケアはメイクの半分の予算しかかけていな い ほとんどメイクに投じている	口紅はすべて百貨店。 全般的に百貨店が多い	◇各アイテムとも3,000～5,000円ぐらいの海外有名 ブランドのいろいろな色を使用している ドラッグではアイブローぐらいしか購入していない (100円)色は濃茶
	D6		学習院 大学3年	40,000円 (30%→12,000円)	・スキンケア、次いでメイク、ボディケアの順 スキンケアはメイクの1.5倍の予算をかけている	専門の購入が多いもの VSやドラッグなどで購入	◇ブランドにはこだわっていないが有名ブランド (シュウエム、FINO、メイリン、クリーク)を使用。また ファンデは制度品。価格は中価格帯で1,000～ 3,000円のものを使用している ◇購入場所はそれぞれ異なるがアイブロー、アイライ ナー、マスカラともブラウンを使用 (1,000～1,500円)
	D7		日本大 大学3年	30,000円 (4%→1,200円)	・スキンケア次いでメイク。ボディケアにはあまりかけていな い ・スキンケアはメイクの1.5倍の予算をかけている	化粧品店、百貨店、スーパ ー、ドラッグ、VS、CVSなどあ らゆるチャネルを活用	◇各アイテムともいろいろなチャネルで多ブランド使用 全般的に制度品メーカーが多く、対面ブランドだけ でなくセルフブランドもよく使用している (メイト ユーセーファインネイル、エルセリエ) ◇アイメイク、ネイルは低価格品を使用している (330～ 500円) アイブロー、マスカラとも黒を使用